



ゴミの山・山・山

許せない! 不法投棄 300人の地域住民・ 市職員が清掃作業

「みんなが捨てているから捨てる」「誰も見ていないから捨てる」…。そんな無責任な行動により、市内のいたるところでゴミが散乱しています。

左の写真をご覧ください。字昆布の私有地に家電やタイヤなどのゴミが不法に投棄され、市道に沿って約150メートルにも渡り蓄積。現場には警告のための看板が設置されていますが、そのすぐ側からゴミ山が広がっています。

6月11日の「市環境美化の日」に市民、近隣企業、市職員など300人余りのボランティアが参加して悪天候の中、撤去作業が行われました。不法投棄されたゴミの処理費用は、私たちの大切な税金によって賄われます。



▲不法投棄で出来たゴミの山、でも皆の力を合わせゴミの山を撤去・もう捨てるな!!

伝統の心・織りの技法は 私たちが受け継ぎます

～伊波メンサー織講習会修了式～

市指定文化財「伊波メンサー織」の後継者育成講習会の修了式が5月26日、石川伊波にある伊波メンサー織作業所で行われました。3年間の講習を終えた長岡晶子さん、上地きみ子さん、伊波清美さんの3人に修了証書が授与されました。

指導にあっている技能保持者の伊波貞子さんは「体得した技法は、皆さん1人のものではなく、子や孫にも受け継いで行ってほしい」と後継者育成の重要性を語ってくれました。



▲伝統の織! 伊波メンサー講習を終え修了証を手に笑顔の上地きみ子さん、伊波貞子さん、長岡昌子さん、伊波清美さん(右から)

子ども達を守る・地域パトロール隊結成

地域の子供達を事件・事故から守ろうと南風原地区コミュニティ供用施設建設工事の業者等で組織した「南風原地区地域防犯パトロール隊」の結成出発式が、うるま警察署や南原小児童、住民らが集い勝連南風原ふれあいパークで行われました。

児童らが防犯意識を高める「イカのおすしダンス」を披露。児童を代表して上江洲清輝くんが「地域の方が僕たちを事件・事故から守ってくれるのでうれしいです」とお礼を述べました。

パトロール隊にはうるま署南風原駐在所から腕章が手渡されました。また隊長の松田司さんが決意表明し、パトロール隊と署員らが最初のパトロールに出発しました。活動は11月30日まで実施され、その後地域住民らに引き継がれます。

防犯の歌・イカのおすしダンスを披露する南原小児童▶



▶南風原地区コミュニティ供用施設建設工事業者で組織された地域パトロール隊